

利用者の声聞かない バス路線廃止・減便計画は撤回を

5月26日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市会議員団を代表して前田あきら議員と赤田かつのり議員が一般質問に登壇しました。

質疑項目

1. 神戸市バスの減便・廃止について
2. 物価高から暮らしを直接応援する施策について

神戸市は、4月に全区で市バス31路線を週1916本も減便しました。座席27席のバスに55人を詰め込むことを目安に減便を進めた結果、ラッシュ時は「バス停で長蛇の列が鉄道の改札まで伸び、満員で、2・3台待ってもバスに乗れない」「下車まちのバスがロータリで滞留して、電車に乗り遅れた」などの声が出ています。日中でも「買い物のあ

とバスが混雑して乗れず、坂道を重い荷物を持って帰った」などの声が届いています。前田議員は、利用者の声を踏まえ、減便された路線を元に戻し、8月予定されている須磨エリアの15路線での週1002本の減便・廃止や、来年のしあわせの村行きへの減便・廃止は中止すべきと追及しました。

答弁ダイジェスト

城南交通局長：運転士不足をはじめとする深刻な経営状況で、市バス路線網を維持していくためには、データに基づいた見直しは不可欠だ。ご負担・ご不便をおかけしている点については真摯に受け止めている。

前田議員：1月に16系統で、高齢者が転倒する事故が起こった。局長は「高齢者の立席乗車は今後も起こり得るが、転倒事故が起こらないように努めたい」と答弁した。しかし5月には、減便された3系統でも高齢者の転倒骨折事故が起きている。それぞれの路線の特徴や利用者の年齢などを無視し、安全性を後回しにしたからではないのか。

城南局長：この2つの事例は混雑で立席していたから転

倒したものではない。16系統は最初から空席があった。乗務員をはじめ安全運行につとめきちんと教育をしたい。

前田議員：運転士が注意をしなかったからではなく、切り詰めて運転しているからだ。現状を見て、なぜ事故が起こったのかを検証すべきだ。運転士不足と言うが、交通局は運転士を採用した途端に給料を10%カットし、さらには時間外労働が常態化している。こんな問題を無視して減便し、安全性が二の次になっている。データなどの機械的な見直しはやめて利用者の声を聞くべきだ。

城南局長：須磨エリアは6か月前に、しあわせの村は14か月前とこれまでよりも早く公表し、地域の方に説明をしている。

前田議員が 一般質問



前田議員：2タッチデータを「客観的な利用実態」と言い、儲かっているか損しているかの観点でしか見ていない。その最たるものがしあわせの村行きへの減便・廃止だ。この間署名だけでなく利用者の保護者、福祉団体・福祉従事者から次々と要望が届いているが、それでも強行するのか。

城南局長：しあわせの村はエリア全体で年間2.6億円の赤字だ。6月から障害者福祉施設等に伺い、利用実態や事情・意見をきめ細かく聞く予定だ。丁寧な対応を進めたい。

前田議員：福祉局から10月に「福祉施設の利用者の通所への配慮」について伝えられてから一度もその団体に話を聞かなかった。なぜ話を聞く前に案を提示できるのか。利用者の母親は「こだわりが強い障がい特性もあり、物音にも敏感で大勢の高校生と一緒に乗るバスは難しい」「強行されて一人で通えなくなると、親が仕事をやめて同行しないと、この子の日常生活の場が奪われてしまう」と悲痛な声

をあげていた。交通局の案は、生活・自立の場への移動手段を奪う行為だ。市長部局は是認しているのか。

八乙女福祉局長：最終的には交通局の経営判断になるが、福祉施設の利用者のみなさんの足を守るために何ができるかを検討したい。

前田議員：これまでおこなってきた不採算路線に対する補助を市長がカットしたから減便しなければいけない事態になっている。この間バスの運賃も値上げしてなおまださらに路線を減便し、受益者負担の立場になっているのが現状だ。物価高で困窮している方やバスの減便で切り捨てられた交通弱者など、最も大事にしなければならない人を軽んじ、手を差し伸べない姿勢は変えるべきだ。市長は三宮再開発で「非日常空間」の賑わいづくりに力を入れているが、求められているのは、目の前で困っている住民の「日常」の生活を守り支援することだ。基礎自治体の「住民の福祉の向上」という本来の市政運営をおこなうべきだ。

空港が戦争に使われる!?! 神戸空港の「特定利用空港」指定認めるな!!

質疑項目

1. 神戸空港の「特定利用空港」の指定について
2. 中東情勢の緊迫化と市民生活への影響について

「特定利用空港・港湾」は、「安保三文書」に基づき推進されている、自衛隊および海上保安庁の利用を強化する政策です。神戸空港が特定利用空港に指定されれば、平時から自衛隊が訓練や人員・物資の輸送などで軍事利用しやすくなります。既に指定を受けている全国各地の特定利用空港では、F15戦闘機の離着陸訓練（タッチ&ゴー）の騒音被害やオスプレイの夜間飛行訓練による振動など住民から苦情があがっています。和歌山県・南紀白浜空港では、昨年10月21日と23日実施

の自衛隊統合演習では、空港敷地内で最大106デシベルを測定しています。もし神戸市が特定利用空港の指定を受け入れてしまえば、市内各地がたびたび騒音にさらされ、市民生活に悪影響を及ぼします。また、災害対策だけでなく戦闘を想定する訓練に神戸空港が利用されることにもなりかねません。赤田議員は、神戸市は国からの正式な確認依頼を待つまでもなく、特定利用空港の指定に同意しないことを明確に表明すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

今西副市長：3月30日の説明会で、国からは武力攻撃事態のような有事の利用を対象とするものではない旨、自衛隊・海上保安庁については平素の利用に大きな変化はないとの説明があった。

赤田議員：タッチ&ゴーは救援物資の輸送とは何の関係もない。タッチ&ゴーは大規模災害時だけでなく有事の場合も想定した訓練ではないのか。失敗したら危険だ。国と神戸市との確認事項に、災害訓練以外に神戸空港に自衛隊機は入れない、軍事利用はしないことを項目に入れるべきではないか。

山本理事兼港湾局長：指定を受けた空港にヒアリングをおこないたい。まだ国と結ぶ確認事項の中身云々という状況ではない。

赤田議員：説明会の議事要旨を見ると、内閣官房国家安全保障局が「政府としては厳しい安全保障環境において、自衛隊・海上保安庁が実効的

に対応するためには、多様な空港港湾を平素から円滑に利用できることが重要であり…」と答えている。この「厳しい安全保障環境」とは一体何なのか。

山本理事兼局長：今国で議論されている現在の安全保障環境を踏まえた対応が背景として議論されていることは承知している。ただ特定利用空港については平素の空港の利用を対象としているということもあり、その有事の中には、災害等に対する救援等が含まれると認識している。

赤田議員：特定利用空港に指定されると、「重要影響事態や存立危機事態になった場合も、自衛隊・海上保安庁が利用できるように協力しなければならない」ことが国側の見解で明らかになっている。「平素から」と言うが、かなり危ない段階でも特定利用空港として国に協力しなければならぬということではないのか。

山本理事兼局長：国から確

赤田議員が一般質問



認依頼がきた際には、平素の取り扱いの中にそういった事態が入るのかどうか確認する。

赤田議員：「有事とは関係ない」というのはまやかしてはないか。有事に備えた平素からの準備ととれる。重要影響事態や存立危機事態は集団的自衛権の中にも含まれる。また、「なぜ神戸空港を特定利用空港の対象にするのか」という問いに対して防衛省は、「2015年11月に兵庫県播磨広域合同防災訓練で、空自の多用途支援機U-4や戦闘機F15が災害対応のための訓練として神戸空港を利用させていただいた」と答えている。しかし、港湾局は、「逐一把握していません」と回答した。局長は知っていたのか。

山本理事兼局長：神戸空港を使用する届け出や申請手続きがなされたときには、事前の調整がおこなわれるので、その事前調整でF15の使用を聞いている。

赤田議員：昨年11月当時には市民への周知も議会での説明もなかった。軍事機密だからではないか。

今西副市長：国から正式な依頼が示される状況になれば、議会からいただいた意見も含めて国に確認し、議会にもその内容の説明をした上で対応を検討したい。

赤田議員：（神戸市は国に）戦闘機の運用や弾薬等の

危険物の取り扱いについて質問をしているが、防衛省は「戦闘機等の運用や弾薬等の危険物の取り扱いについて調整させていただくことはある。訓練等での利用にあたっては、当該利用が地元住民に対する影響が最小限となるよう努めていく」と答えている。しかし神戸空港の条例第11条では「爆発物または危険を伴う可燃性のもの」の携帯・運搬を明確に禁じている。絶対に認めてはならないのではないか。

山本理事兼局長：まずは国が考えていることを聞くことが先決だ。

赤田議員：戦闘機や弾薬を安保三文書に基づいて使うということは国家安全保障戦略の記述から明らかだ。国に説明を求めるまでもないのではないか。

山本理事兼局長：本取り組みと米軍の利用は何ら関係性を有していないというのは我々が今聞いているところだ。

赤田議員：災害のためと言うが、むしろ軍事的な訓練のために頻りに利用されるのではないか。国は神戸市が神戸空港を特定利用空港とすることを受け入れれば、12月下旬を目途に関係省庁と神戸市で確認文書を交わし、新たに特定利用空港港湾として公表するため、12月上旬ごろまでに神戸市に回答を求めている。同意すべきではない。